

外郭団体特別委員会審査から②

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が7月26日と8月8日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の大かわら鈴子議員と前田あきら議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

7月26日 市長室

御影市場・旨水館

公益財団法人 神戸国際コミュニティセンター

他のテナントと協力し 阪神電鉄に事業継続求めよ

——— 前田あきら議員

公益財団法人神戸国際コミュニティセンターは、2021年に本社を三宮から新長田に移転したことに合わせ、三宮と御影に「にほんごプラザ」を開設しました。しかし、この御影のプラザが入居した御影市場・旨水館は、所有者である阪神電鉄から高架の耐震補強工事のために立ち退きを迫られています。過去に阪神電鉄は有楽名店街で耐震性を理由に撤去を求めた事案がありましたが、結局は耐震性

に関係なく、阪神電鉄の都合だったことが裁判で明らかになっています。前田議員は「638万円も市民の税金を使って内装工事をしたのに、3年も経たずに追い出しとはあまりにもひどい話だ。市場を通してだけでなく、神戸市が事業を継続できるよう阪神電鉄に求めるべき」と追及しました。

答弁ダイジェスト

前田議員：内装工事を始める段階で立ち退きの話はなかったのか。内装工事費は返ってくるのか。

常務理事兼事務局長：もともと（立ち退きが）わかっていたら入居していない。協議の推移を見守りつつ、できるだけ財産の毀損がないように努めたい。



前田議員：近くに外国人労働者がたくさんいて、人通りも多いということでこの場所が選ばれて開設した。テナントとして直接阪神電鉄に権利主張すべきだ。

常務理事兼事務局長：市場の存続は経済観光局の所管だ。情報収集に努め適切な対応を考えたい。

前田議員：情報収集だけでなく、市場や他のテナントと連携して阪神電鉄に強く事業継続を要望し、所管が違うのであれば神戸市の責任で対応すべきだ。

その他の質問

- 在留外国人への包括支援について

——— 大かわら鈴子議員

7月26日 建築住宅局

一般財団法人 神戸住環境整備公社

「住まいは人権」

～要配慮者への供給支援強化こそ～

——— 大かわら鈴子議員

一般財団法人神戸住環境整備公社は、高齢者・障がい者・子育て世帯等住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅（セーフティネット住宅の登録）の増加を目的として、賃貸住宅オーナーへの相談や入

居の支援をおこなっています。今年1月に入居者4名が亡くなった火災は、生活困窮な単身高齢の方が多く入居していた兵庫区のセーフティネット住宅で起きました。この火災の背景には要配慮者の方が民間住宅になかなか入居できないという現実があります。大かわら議員は、要配慮者の実態の把握とオーナーへの広報を徹底し、登録件数の明確な目標を定めて計画的に進め、低廉で良質な住宅の確保と命を守るための取り組み強化を求めました。

答弁ダイジェスト

根岸局長：高齢者や障がい者の方々がどこに住んでいて、どのような困窮状態かを把握するのは非常に困難だ。当然（住宅を）増やしていきたいと思っているが、今は目標を掲げていない。

大かわら議員：2022年度は賃貸住宅オーナーの相談件数が93件となっているが、セーフティネットの登録まで至ったのはどれくらいあるのか。

住環境部長：13戸。

大かわら議員：13戸では少ない。ただ相談に来るのを待っているだけでは進まない。広報はきちんとしているのか。

住環境部長：オーナーにダイレクトメールを送っている。

大かわら議員：なぜ登録が必要なのかを伝えることに意義があり重要だ。改正住宅セーフティネット法自体が対象者の規模が小さ過ぎること、家賃の低廉化の仕組みが不十分であることが国会でも問題になっている。その部分を局と一緒に補いながらきちんと進めていくことが必要だ。「住まいは人権」という立場で取り組みを強化すべきだ。

その他の質問

- 困難な問題を抱える女性への住宅の供給支援について

——— 前田あきら議員

- 団体再編（デューデリ価格など）の妥当性について

——— 前田あきら議員



須磨パティオ

株式会社こうべ未来都市機構

住民や利用者の声聞き、 無料駐輪場の増設を

—— 前田あきら議員

株式会社こうべ未来都市機構は、管理運営する須磨パティオ用の無料駐輪場を廃止して、その跡地に新たに北須磨支所が入るビルを建設中です。駐輪場は別の場所に立駐型で移設されましたが、利用者からは「段差があり足の不自由な方には使いにくい」「通路が細く子ども乗せ自転車は通りにくい」など意見が上がっ

ていました。

元の場所に駐輪場をつくってほしいという要望を受け、新北須磨支所ビルの1階部に100台程度の駐輪場（3時間以上は有料）が整備されることになりました。前田議員は、建設局の駐輪場もパティオ駐輪場も終日無料だと指摘し、新北須磨支所ビルだけわざわざ有料にする妥当性を質しました。

答弁ダイジェスト

前田議員：本来計画を決める前に利用者や住民からの意見を聞いて進めるべきではないのか。もとの北須磨支所もパティオの時間制限なく無料だったのに、新

しい支所を有料にする必要があるのか。

代表取締役専務：北須磨支所の利用者（の駐輪時間）が3時間以上になることはない。支所に集中して利用者が止められなくなると困るので、通勤・通学などで（長時間）利用される方には有料の負担をいただきたい。

前田議員：理屈にならない。（通勤・通学用の）駐輪スペースが足りていないのだから、無料の駐輪場を増やすように建設局に求めるべきだ。

その他の質問

● まちづくり公社との事業編成について
—— 前田あきら議員

株式会社神戸サンセンタープラザ

区分所有者の要望に耳を傾け 最大限の合意形成を

—— 大かわら鈴子議員

株式会社神戸サンセンタープラザが運営を担う、さんプラザ・センタープラザ・西館は、神戸市が公表した「三宮周辺地区の再整備基本構想」において「建替え・更新が望まれるエリア」とされており、これまで60名の理事のみを対象に10回「今後のビルのあり方検討会」を開催し、再整備の方向性についての検討がおこなわれてきました。大かわら議員は、これまで検討会に出席されていない方が多数いること、さらに区分所有者へのアンケートの回収率が6割弱であることを

厳しく指摘し、意思表示していない方が取り残されてしまうということがないように最大限合意形成し、皆さんが同じ思いで進めていくべきと追及しました。

答弁ダイジェスト

光平担当部長：方向性の決定は、あり方検討会の中で個別にするのではなく、理事を含めたアンケートの中で意向確認をおこなう。

大かわら議員：検討会に出席していない方もおり、アンケートの回収率も6割の状況でどのように意見を聞くのか。

光平担当部長：今年度は全区分所有者も対象とした検討会もおこなう。案内は館別におこなう予定にしている。

大かわら議員：館別でおこなうなら出欠を把握して個別の働きかけをすべき。アンケートでは「時間をかけてでも丁寧

に意見を聞きながら進めてほしい」「サブカルチャーな特徴を生かしてほしい」という回答が多かった。どこの都市にでもあるような特徴のないものにするのではなく、これまでのレトロな雰囲気や特徴を守り引き継いでいくべきだ。

その他の質問

神戸ハーバーランド株式会社
● あじさいネットについて
—— 前田あきら議員
● 減資の妥当性について
—— 前田あきら議員

神戸新交通株式会社
● 三宮駅舎について
—— 大かわら鈴子議員

23年度9月議会・決算特別委員会日程と共産党議員の質問予定

	月	日	曜日	審査順位	質問予定時刻	分科会	担当議員		月	日	曜日	審査順位	質問予定時刻	分科会	担当議員
会計室・市長室・行財政局	9	25	月	4	14:00	1	森本 真	10	2	月	2	11:00	2	朝倉 えつ子	
環境局				5	14:55	2	赤田かつのり				3	13:00	3	味口としゆき	
企画調整局		26	火	3	13:00	1	前田 あきら		3	火	5	14:55	1	森本 真	
港湾局				1	10:10	3	松本 のり子				西 ただす				
建設局		27	水	4	14:00	2	大かわら鈴子		4	水	1	10:10	2	赤田かつのり	
経済観光局				5	14:55	3	松本 のり子 森田 たき子				4	14:00	1	森本 真	
地域協働局		28	木	2	11:00	1	西 ただす		5	水	5	14:55	2	朝倉 えつ子	
福祉局				3	13:00	2	大かわら鈴子				2	11:00	3	松本 のり子 味口としゆき	
都市局		29	金	1	10:10	1	前田 あきら		10	10	火	4	13:50	—	大かわら鈴子
こども家庭局				4	14:00	3	味口としゆき 森田 たき子								

※陳情や請願の有無等によって質疑時間が大幅に前後する可能性があります。

ぜひご視聴ください

味口としゆき議員と朝倉えつ子議員が代表質疑

日時 9月22日(金) 10時頃から

場所 市議会本会議場

ご視聴はこちら



質疑時間が変わることがあります。インターネット中継でご視聴の方も本会議場での傍聴をご希望の方も時間に余裕をもってご覧ください。